

まちかど インタビュー

このコーナーは、議員がまちの人をご紹介します。

今回は、
深瀬がインタビュー
させていただきます。

今回ご紹介する方は…

村山 幸博さんです。

新十津川町生まれ弥生区在住の58歳。
現在、弥生区長。

農業飲食店『焼き鳥 京・工房』ものづくりの店 ガレージムラヤマの三足のわらじで活躍中。『ガレージムラヤマ』では、ご自身で考案された廃油ストーフやキッチンカーを製造。自作のキッチンカーで、自家農園で収穫したてのゆでとうきびの販売や、焼き鳥弁当の販売などもされている。



◎ **農業の魅力はどんなところにあると思いますか？**
自家農園のとうきびをお店で出した際、お客様に「昔食べたとうきびの味だ」とすぐ言われた。それ以来、なるべく手取りやすい価格で、多くの方に食べてもらいたいという気持ちで、さまざまな工夫をこらして、栽培している。今年、アライグマ・キツネ・タヌキなどの鳥獣被害が大きく、辛いものがあった。

◎ **町議会に対しての思いは？**
今年より来年、来年より再来年と、見通しを立てつつ、毎日必死に生きている。正直なところを申し上げると、議会の情報を自ら収集したり、それらについて考える余裕がない。しかし、一人でやれることには限界があるので、周囲の助けが必要な場面もある。どうしていくのが良いか共に検討していただきたい。今期は、町議会に若い世代が増え、ガラッと一新したので、より身近に感じ、相談などもしやすくなったように感じる。

◎ **新十津川町はどんな町だと思いますか？**
健全財政で安心して暮らせる良い町だと思います。町民一人一人に対して議員や役場が見守ってくれて、困った時には手を差し伸べてくれるので、感謝しています。

美しい田園風景や食材のおいしさなど、町の魅力発信を推進していただきたい。

インタビューを終えて…

「区長の任を務めるのは大変ではないですか？」とお伺いしたところ、「毎年春が来て冬が来るように、新十津川での暮らしの中で区長という役が回ってくる。そういうものなんだ」とお答えいただきました。弥生区は農村地区で、転勤等で大きな人の入れ替わりはないそうです。農業の町の暮らしを、もっと深く知りたくなる取材となりました。

議会 ミニニュース



議会自主勉強会について

8月10日に総務民生常任委員会
で、町内の墓地の視察と排水機場設置場所の確認を行いました。高低差の大きな墓地では、何段もある階段を実際に登ってみることで、使用者の苦勞を想像することができました。

8月28日の経済文教常任委員会の後に、全議員で産業振興課関係事業（スマート農業、有害鳥獣対策、バイオマスボイラーなど）の勉強会を行いました。

10月13日は、全議員で建設課関係施設（徳富ダム、農業集落排水施設、排水機場、除雪センターなど）を視察し、所管課から説明を受けました。
今後ともさまざまなテーマで積極的に学んでいきたいと思えます。

● 議会の開催予定

◎令和5年第4回定例会：12月13日(水)から15日(金)まで ※10:00開会
※一般質問は13日(水)を予定
※正式な日程につきましては、議会事務局へお問い合わせください。
また、休会となる日があります。

インフォメーション
information

過去の議会だよりや
会議録を確認できます！

活動内容をタイムリー
にお知らせします！

新十津川町ホームページ(町議会部分)

<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/category/212.html>

新十津川町議会 facebook

<http://www.facebook.com/shintotsukawa.gikai/>

新十津川町議会 Instagram

<https://instagram.com/shintotsukawagikai?igshid=NTc4MTIwNjQ2YQ==>

